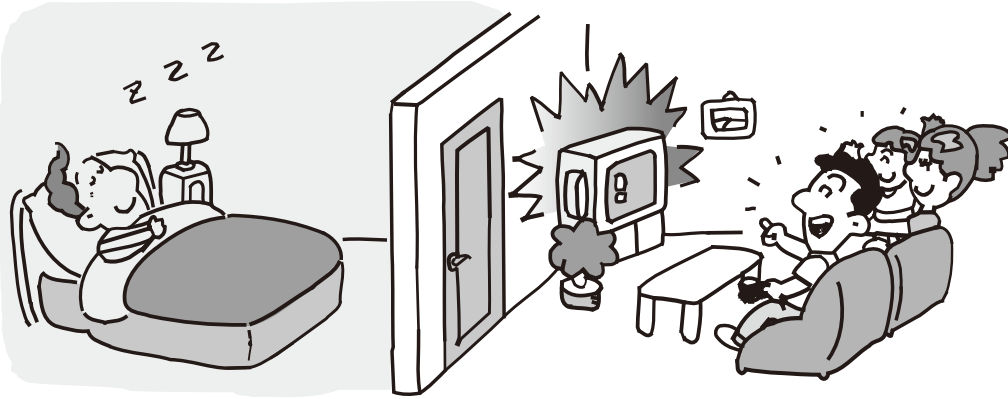


LIXIL

インテリア建材 室内ドア(プライベート仕様)

取扱い説明書



ご使用にあたって

この説明書では、お施主さまが商品を安全に正しくご使用いただくためのお願い事項、お手入れの方法などの重要な内容を記載しております。
ご留意いただくとともに、大切に保存してください。

目次

■ 重要なお知らせ	1
■ 警告用語の種類と意味	2
■ 特に注意していただきたいこと	3
■ 室内ドア／プライベート仕様の性能	5
■ 室内ドア／プライベート仕様の特長	6
■ 音とは	7
■ お手入れ方法	8
■ チリ寸法の標準設定位置	9
■ ストライクによる建付け調整	9
■ 丁番による建付け調整	10～11
■ ドアの外し方・取付け方	12
■ こんな時には	13～16
■ 商品保証について	17

重要なお知らせ

ご使用の前に

安全のため、必ずお守りください。「インテリア建材」のご使用およびお手入れを行う場合は、必ずこの取扱い説明書に従ってください。

もしこの取扱い説明書に従わず、乱用または誤用によるケガおよび損害が発生した場合は、当社およびその販売会社に責任はないものといたします。

1. この取扱い説明書の他にも、あらゆる危険が想定されます。

従って、「インテリア建材」のご使用およびお手入れを行う際は、この取扱い説明書の記載事項に限らず、安全対策に関して十分な配慮が必要です。

2. この取扱い説明書は著作権を有し、その権利は留保されています。


お願い

- この「取扱い説明書」に掲載されていない調整については、無理に調整しようとするとうる落下・破損・ケガなどのおそれがありますので、お買い求めの販売店または、当社お客さま相談センターまでご相談ください。

問合わせ事項	連絡先	TEL
商品全般	お客さま相談センター	☎ 0120-126-001
修理のご依頼	LIXIL修理受付センター	☎ 0120-413-433

警告用語の種類と意味

- この「取扱い説明書」では、危険度(または事故の大きさ)によって、次の2段階に分類しています。以下の用語が持つ意味を理解し、本書の内容(指示)に従ってください。

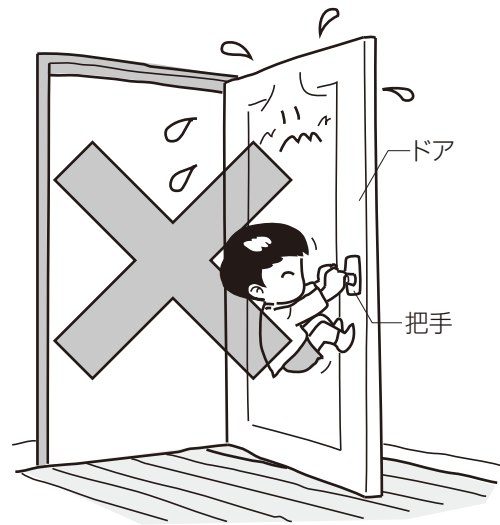
用語	意味
 注 意	取扱いを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。
お 願 い	特に注意を促したり強調したい情報で、指示に従わないと使用者などが思わぬケガをするおそれや、機器の損傷故障等につながる場合があります。

特に注意していただきたいこと

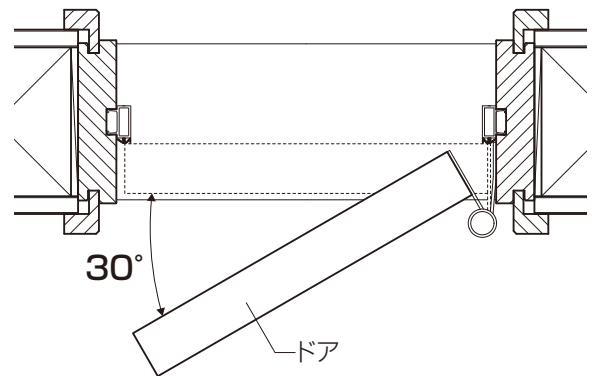
※安全のため、必ずお守りください。

⚠ 注 意

- ドア・把手にぶら下がって遊ばないでください。転倒・落下事故や故障の原因になります。



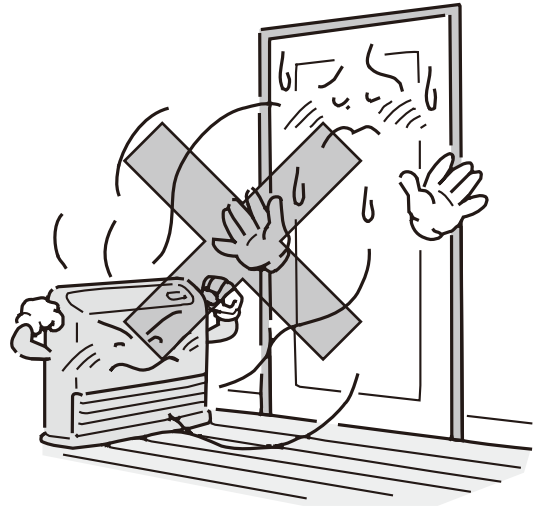
- 本製品は、ドアの開き角度が 30° 以下の範囲では自動的に閉まります。手・足などはさまないようご注意ください。けがをするおそれがあります。



- 建付け調整後、枠丁番の固定ねじは締め直してください。ドアが外れるおそれがあります。
- ドア吊込み後、枠上丁番のレバーが上端まで上がっていることを確認してください。ドアが外れるおそれがあります。

お願い

- 暖房器具をお使いになる場合は、ドアに直接、熱風・熱気が当たらないようにしてください。
ドアが反る原因になります。



- ドアにテープでポスター等を貼らないでください。
表面が傷むおそれがあります。

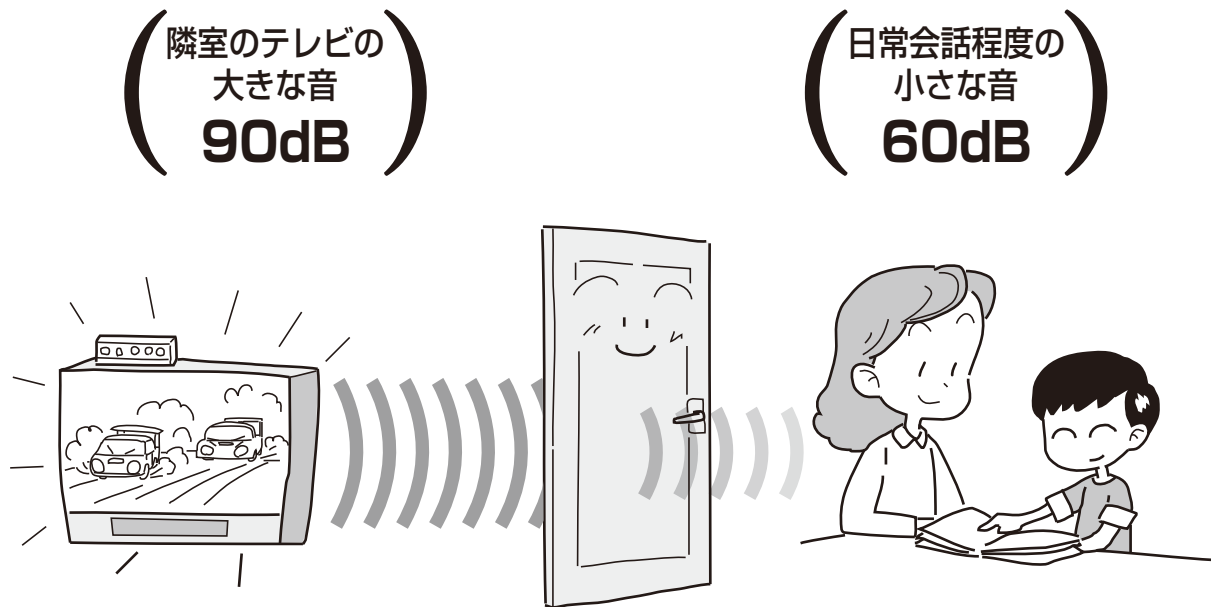


室内ドア／プライベート仕様の性能

室内ドア／プライベート仕様の性能

- 室内ドア／プライベート仕様の遮音性能はT-2(30)等級相当です。
※完全に音を消す（消音する）性能ではありません。
※遮音性能は目安であり、保証値ではありません。
- 遮音性能は、30dBの減音効果です。一般住宅居室用の簡易防音ドアですので、カラオケやオーディオルーム等の本格防音を必要とする部屋へのご使用には適していません。

室内ドア／プライベート仕様を使用した場合



※この場合、 $90\text{dB} - 60\text{dB} = 30\text{dB}$ の音を低減していますので、30dBの防音(遮音)性能を持つドアとなります。(dBは、デシベルといい、音を物理的(エネルギー的)に測る時の尺度です。)

T-2(30)等級とは

- 遮音性は、JIS(日本工業規格)の規定により試験方法および性能の等級が決められています。

遮音性等級	T-1	T-2	T-3	T-4
遮音等級線	25	30	35	40
性能の目安	日常生活音の簡易防音		趣味の本格的な防音	

(JIS A 4706-1996「遮音性の等級と判定基準」)

室内ドア／プライベート仕様の特長

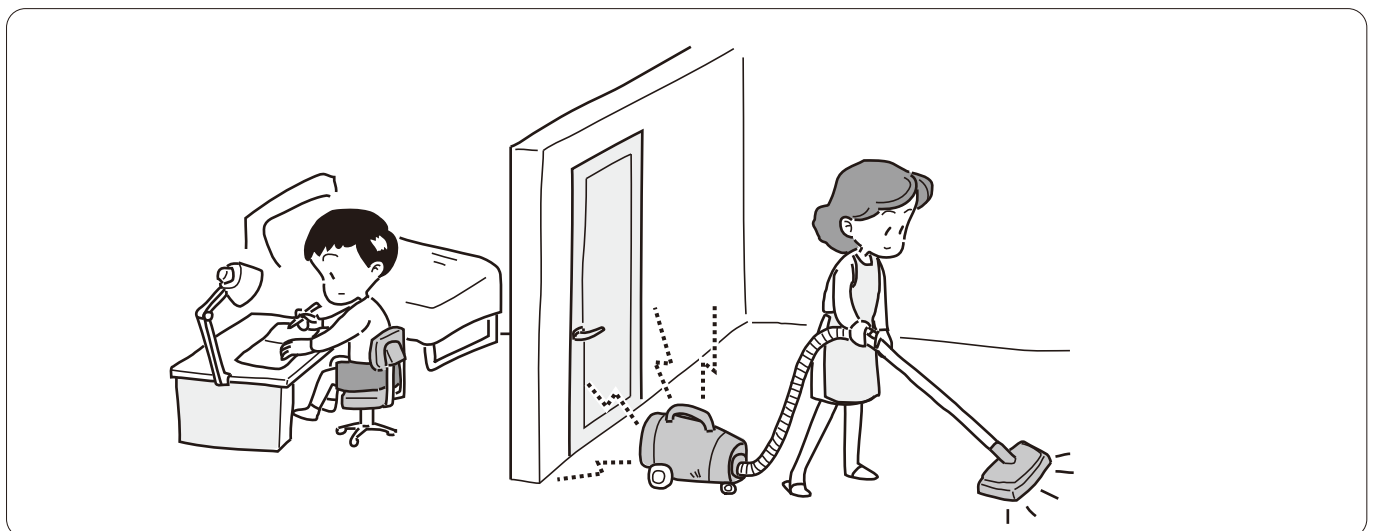
室内ドア／プライベート仕様の特長

- 日常生活の音、たとえばテレビの大きな音や掃除機の音などは、その場にはいない人には耳障りな音を低減します。

静かな部屋で眠りたい……



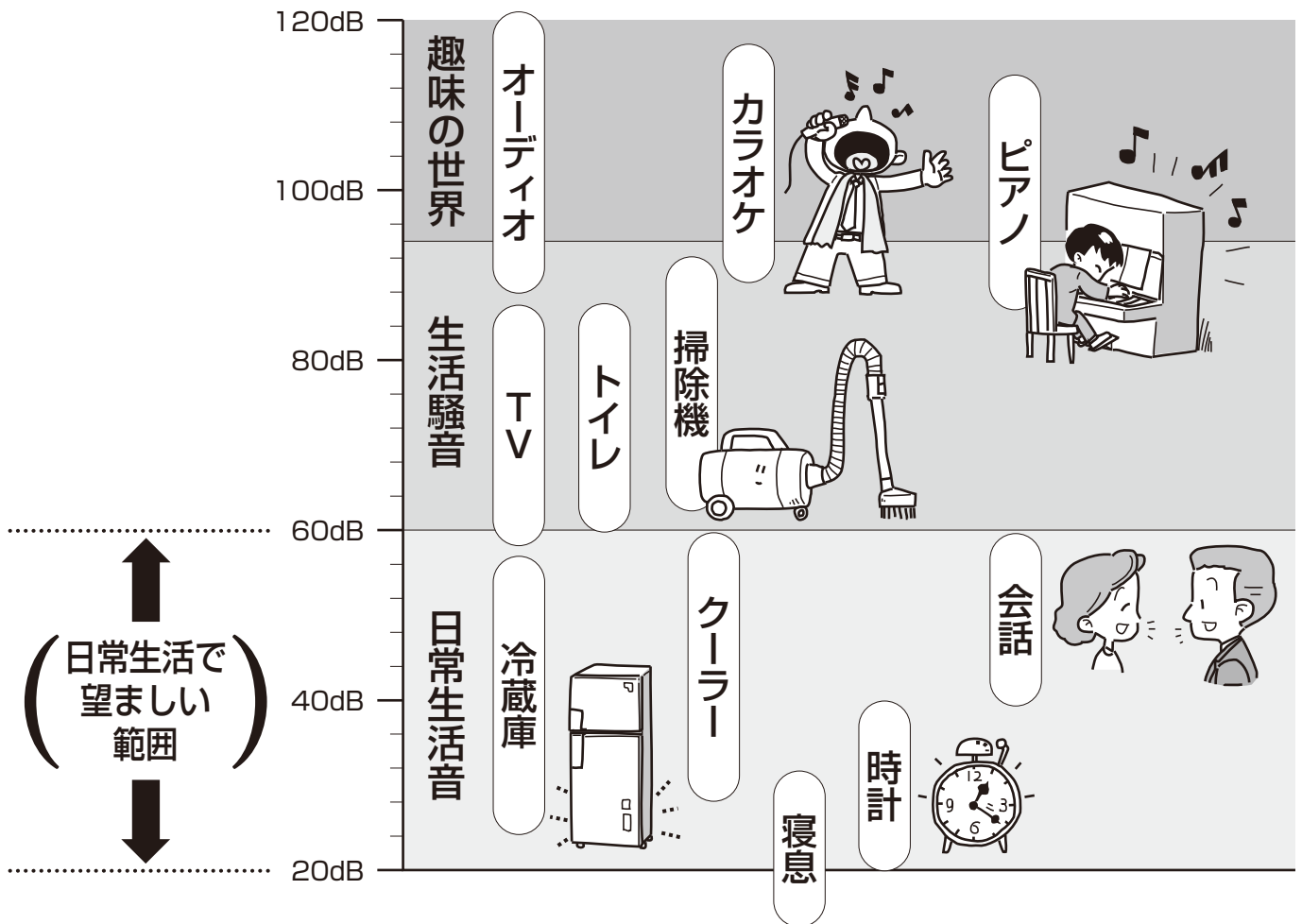
趣味や勉強に集中したい……



音とは

暮らしの中の騒音について

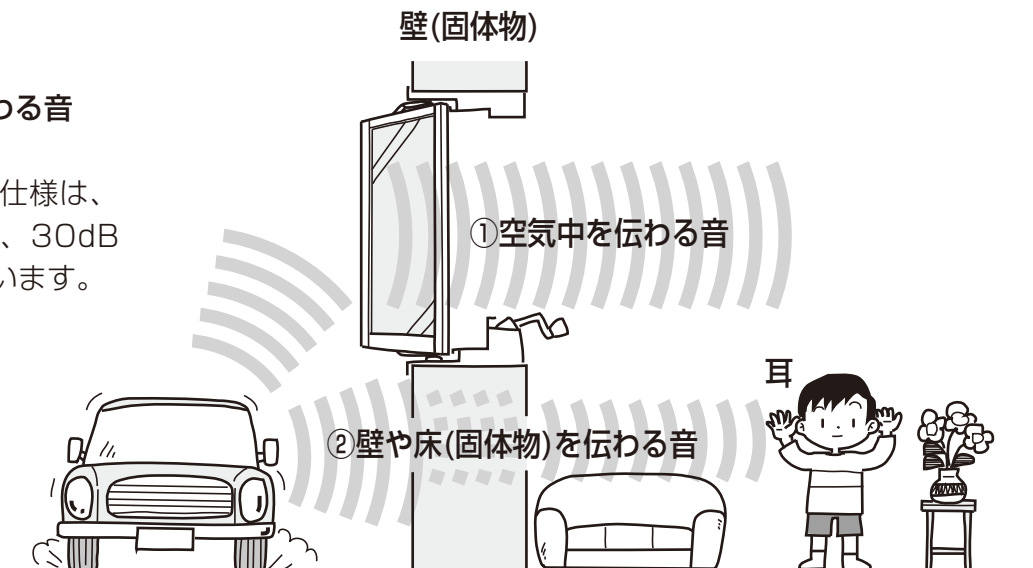
●わたしたちの暮らしの中には、どのような音があるでしょうか？



●日常生活で望ましい音は、40dBから60dB程度の音です。

音の伝わり方

- 音は波の形をしており、
 - ①空気中を伝わる音
 - ②壁や床(固体物)を伝わる音の2種類があります。
- 室内ドアプライベート仕様は、
 - ①空気中を伝わる音を、30dBほど遮る性能を持っています。



お手入れ方法

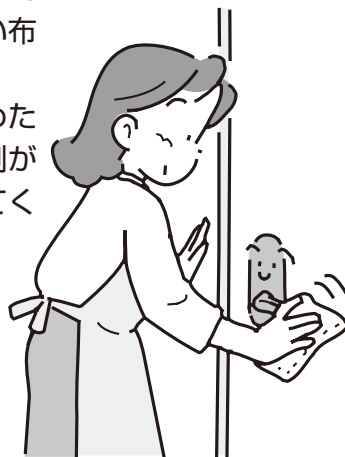
建具の表面など

- ほこり・汚れ等は乾いた布、または水でぬらしてきつく絞った布で拭き取ってください。
 - 落ちにくい汚れは、必ず薄めた中性洗剤で落とした後、洗剤が残らないようよく拭き取ってください。
- ※ベンジン・シンナー・酸・アルカリ系洗剤(漂白剤)等は絶対に使用しないでください。変色したり、表面を損傷させたりするおそれがあります。

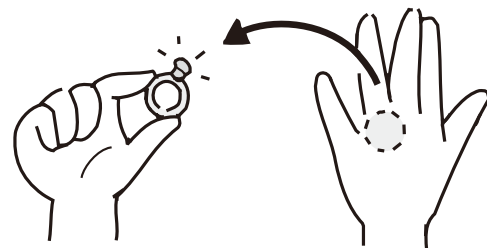


把手

- 水でぬらしてきつく絞った布で汚れを落とした後、柔らかい布でから拭きしてください。
- 落ちにくい汚れは、必ず薄めた中性洗剤で落とした後、洗剤が残らないようよく拭き取ってください。

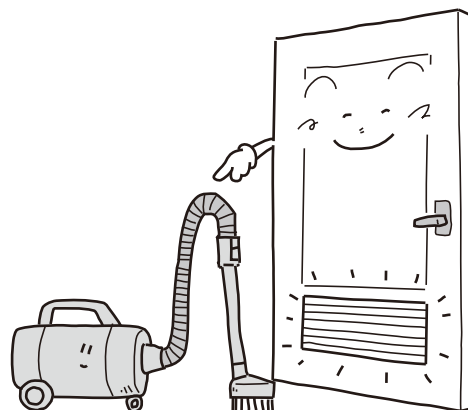


※お手入れの際は、装飾品(指輪・時計)等の金属製品は外してください。把手に接触し、表面を傷めるおそれがあります。



換気口

- 換気口部分についたほこり・汚れ等は、掃除機で吸い取った後、乾いた布または水でぬらしてきつく絞った布で拭き取ってください。
 - 落ちにくい汚れは、必ず薄めた中性洗剤で落とした後、洗剤が残らないようよく拭き取ってください。
- ※ベンジン・シンナー・酸・アルカリ系洗剤(漂白剤)等は絶対に使用しないでください。変色したり、換気口表面を損傷させたりするおそれがあります。

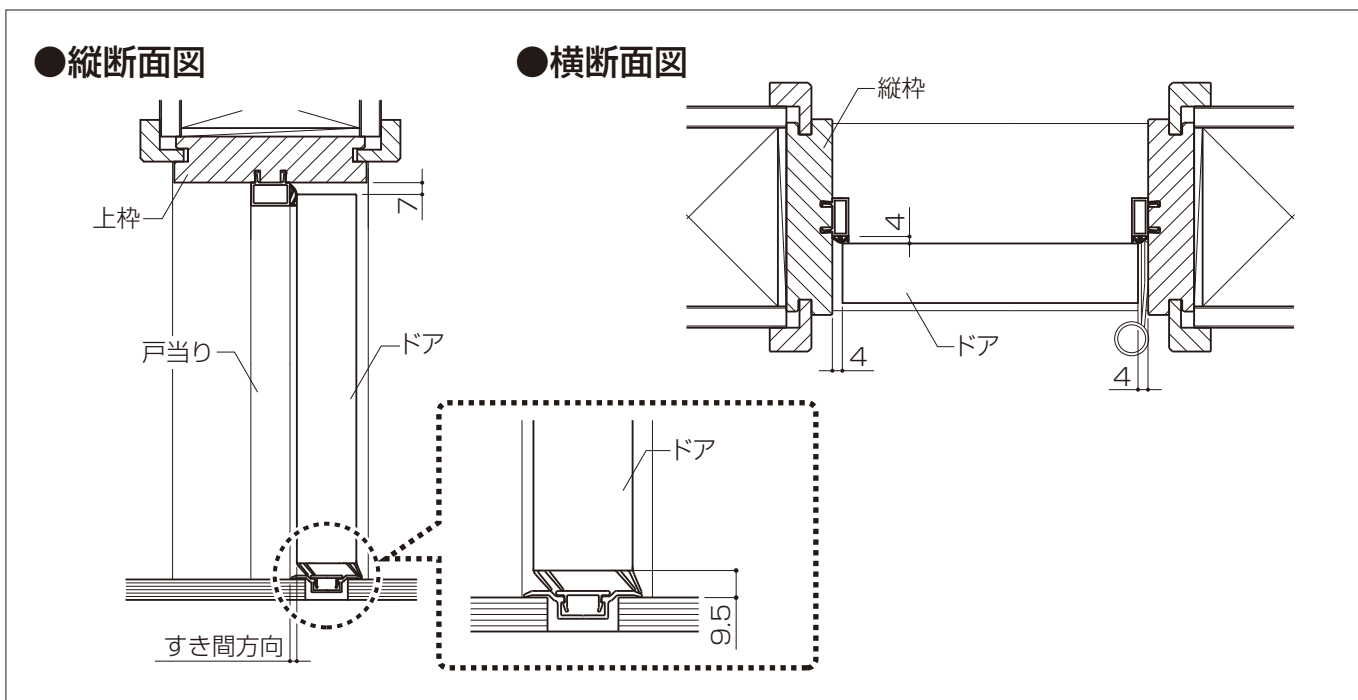


部品破損時の交換について

- ドア下部や戸当りのパッキンに切れなどの破損が生じると、防音性能が低下する場合があります。部品交換の際は、工事をされたビルダーさま・施工業者さままでお問い合わせください。

チリ寸法の標準設定位置

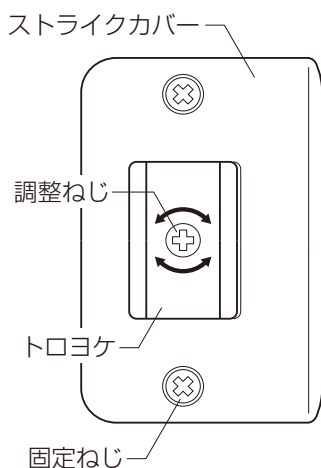
※調整の際は、下図の標準位置を参考に調整してください。



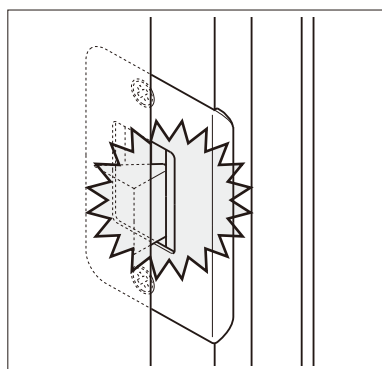
ストライクによる建付け調整

【ストライク受け】

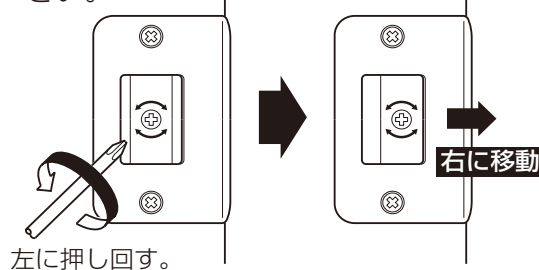
ラッチがかからない



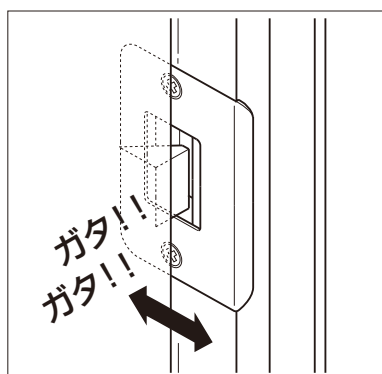
※固定ねじは動かさないでください。



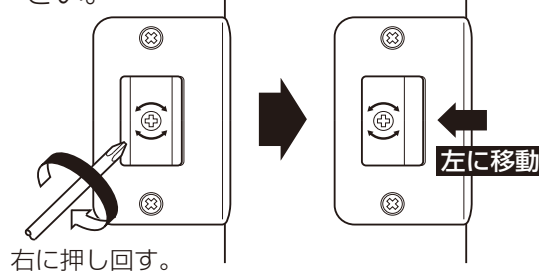
●調整ねじを押しながら左に回してください。



閉めた時にラッチがガタつく



●調整ねじを押しながら右に回してください。



丁番による建付け調整

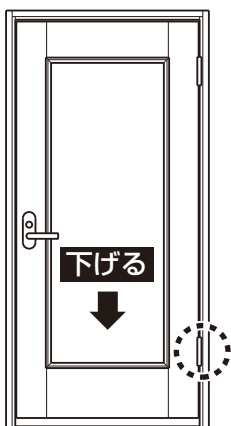
⚠ 注意

- 建付け調整後、枠丁番の固定ねじは締め直してください。

上下の調整

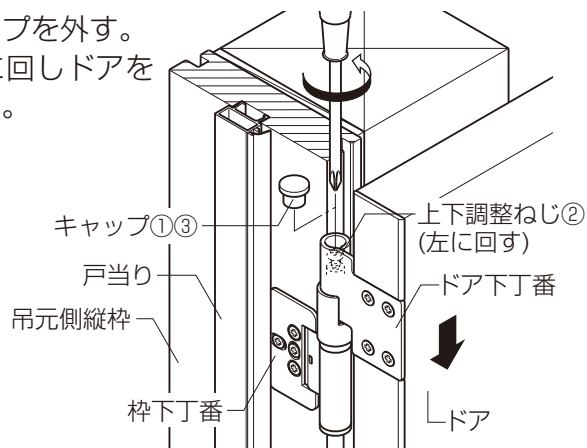
不具合例

- 1) ドアの上部が
枠に当たる。
下部気密材と
枠にすき間が
ある。



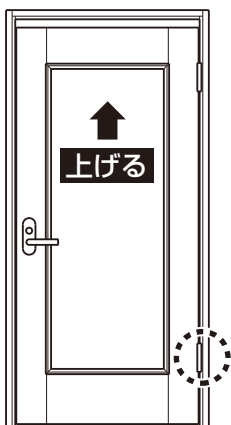
調整方法

- ① ドア下丁番のキャップを外す。
- ② 上下調整ねじを左に回しドアを
下げて位置を決める。
- ③ キャップをはめる。



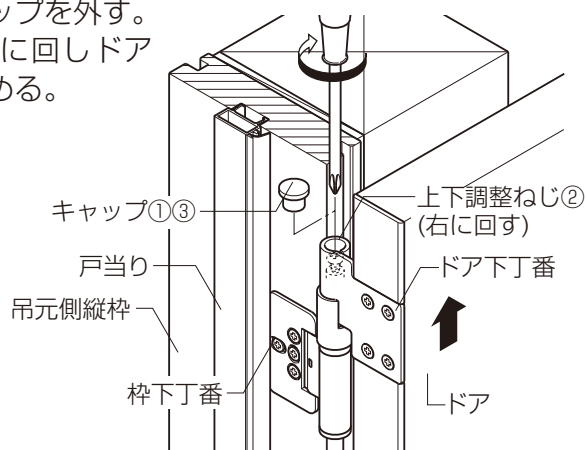
不具合例

- 2) 開閉が重い。
(下部気密材の
当たりが強い)



調整方法

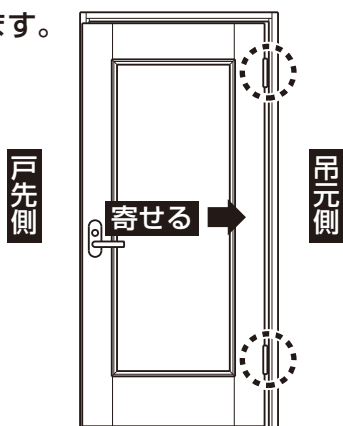
- ① ドア下丁番のキャップを外す。
- ② 上下調整ねじを右に回しドア
を上げて位置を決める。
- ③ キャップをはめる。



左右の調整

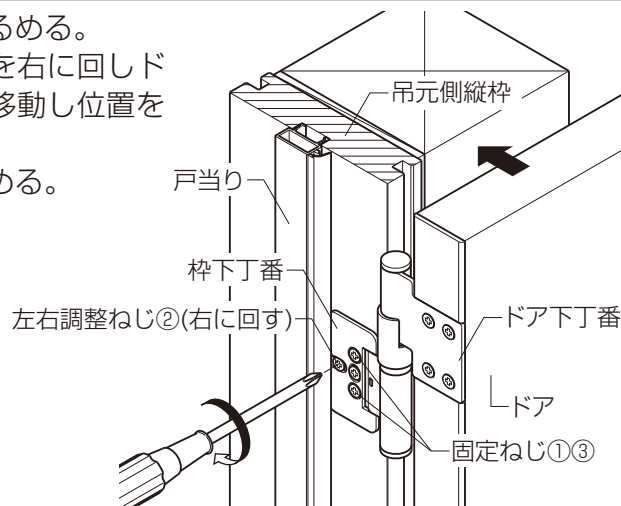
不具合例

- 1) ドアの戸先側が枠に当たる。
※ 枠上丁番および枠下丁番の両方で
調整します。



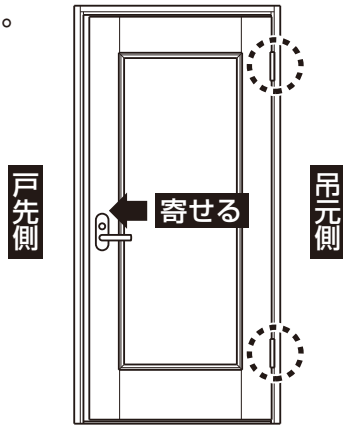
調整方法

- ① 固定ねじをゆるめる。
- ② 左右調整ねじを右に回しド
アを吊元側に移動し位置を
決める。
- ③ 固定ねじを締める。



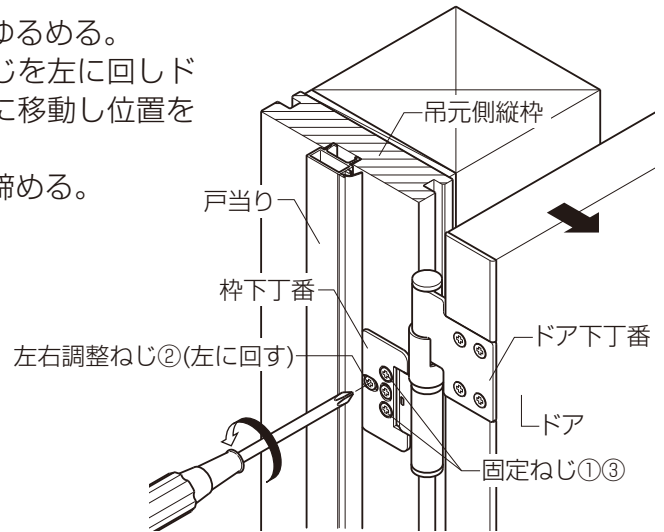
不具合例

2) ドアの戸先側のすき間が大きすぎる。
※ 枠上丁番および枠下丁番の両方で調整します。



調整方法

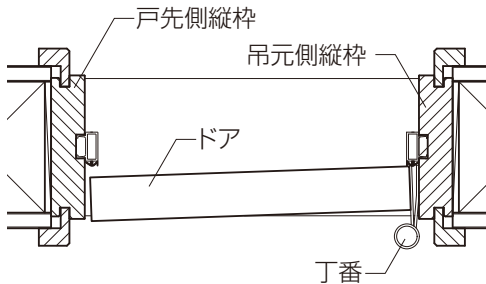
- ① 固定ねじをゆるめる。
- ② 左右調整ねじを左に回しドアを戸先側に移動し位置を決める。
- ③ 固定ねじを締める。



前後の調整

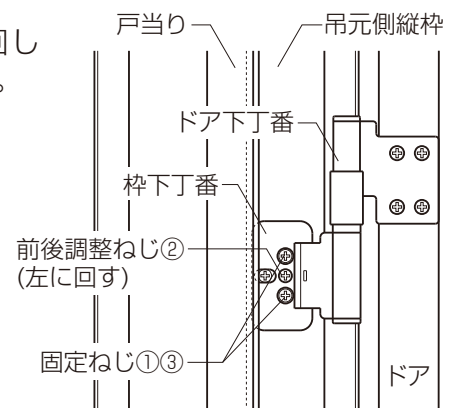
不具合例

1) 戸先側の枠が前に出ている。
※ 枠上丁番および枠下丁番の両方で調整します。



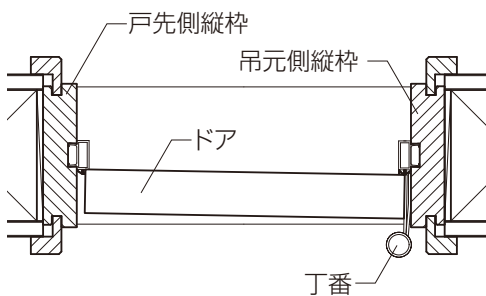
調整方法

- ① 固定ねじをゆるめる。
- ② 前後調整ねじを左に回しドアを前に移動させる。
- ③ 固定ねじを締める。



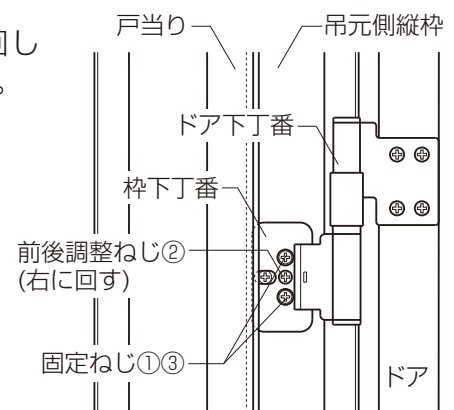
不具合例

2) 吊元側の枠が前に出ている。
※ 枠上丁番および枠下丁番の両方で調整します。



調整方法

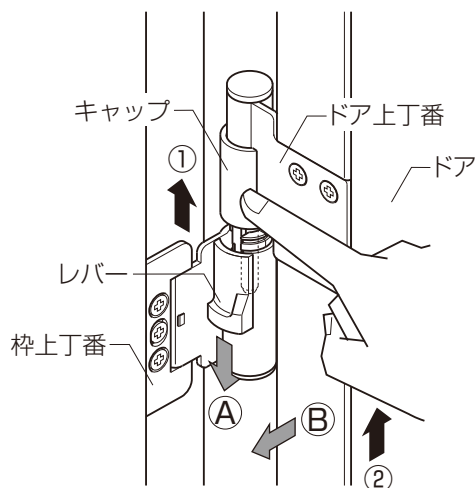
- ① 固定ねじをゆるめる。
- ② 前後調整ねじを右に回しドアを後に移動させる。
- ③ 固定ねじを締める。



ドアの外し方・取付け方

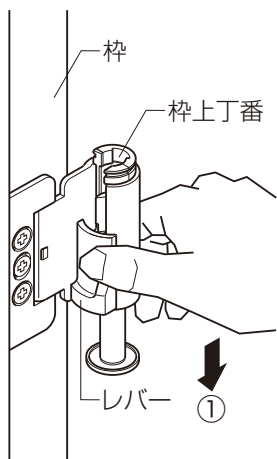
ドアの外し方

- ① ドア上丁番のキャップを上げます。
 - ② ドアを持ち上げて外します。
- ※ 枠などに当たってドアが外せない場合は、枠上丁番のレバーを **A** 方向に下げながら **B** 方向にドアを外します。



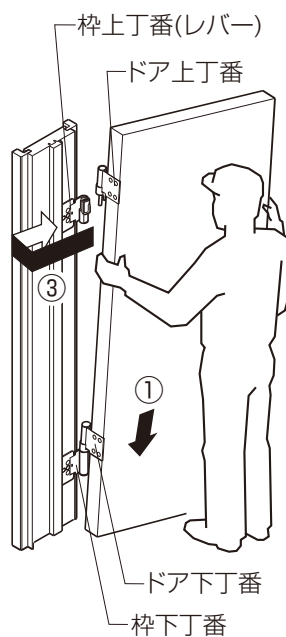
ドアの取付け方

- ① 枠上丁番のレバーを止まるまで下げます。
- ② ドア・枠の下丁番をはめ合わせます。
- ③ ドア上丁番の先を、レバーの上に差し込みます。

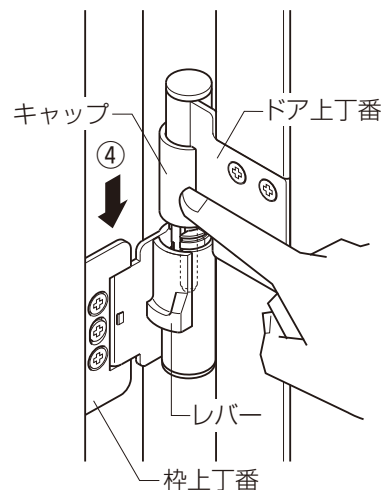


▲ 注意

● この時、自動的にレバーが上がったことを確認してください。



- ④ パチンと音がするまで、キャップを下げます。



こんな時には

- こまったなと思った時に読んでください。
現象別に分けて説明しています。



現象：1 ドアが閉まらない。

確認点	対処方法	参照ページ
●ラッチが掛かりますか？	ドアの枠側のストライク受けの出入りを調整します。 調整により適切な位置を見つけてください。	P.9
●ドアが枠や床に ぶつかっていませんか？	丁番に調整機能がありますので、現象を確認の上、 ドライバーで調整してください。	P.10~11
●ドアと枠の間に物が はさまっていませんか？	無理に閉めようとすると、ドア・枠・丁番・パッキン等 の変形・破損につながります。 はさまっている異物を取り除いてから再度開閉ができる か確認してください。	—



現象：2 ドアを閉めた時にガタつく。

確認点	対処方法	参照ページ
●閉めた時にラッチが ガタつきますか？	ドアの枠側のストライク受けの出入りを調整します。 調整により適切な位置を見つけてください。	P.9
●戸当りパッキンにドアが 密着していますか？	ドアが枠(戸当りパッキン)に密着していないと防音性能 が低下する場合があります。 丁番の前後調整機能を用いて、戸当りパッキンに密着す るよう調整してください。	P.11
●ドア固定ねじ・丁番固定 ねじは、固定されていま すか？	ドア固定ねじおよび丁番固定ねじがゆるんでいると本体 脱落の原因になります。 ドア固定ねじおよび丁番固定ねじを締め込んでください。 また、ドア固定ねじおよび丁番固定ねじはゆるませない でください。	P.10~11



現象：3 開閉が重い。

確認点	対処方法	参照ページ
●下部気密材(パッキン)が沓ずりに当たり過ぎていませんか？	本製品は、閉めた時にドア下部の気密材(パッキン)が沓ずりに接触(密着)して防音性能を出す構造になっています。ドアの調整・建付け等により下部の設定チリ寸法より小さい設定になっていきますと、パッキンが抵抗になり開閉が重くなる場合があります。丁番の上下調整機能で調整して設定チリ寸法に合わせてください。	P.10
●ドアクローザを使用していますか？	開閉の重さは、ドアクローザのスプリングによるもので、装着しない場合に比べて、開ける力は大きくなっています。無理に開閉しようとする、と、丁番・クローザアームの変形・破損につながります。	—
●ドアが枠にこすっていませんか？	無理に開閉しようとする、と、ドア・枠・丁番・パッキン等の変形・破損につながります。丁番の調整機能で調整してください。	P.10~11



現象：4 ドアが反ってきた。

確認点	対処方法	参照ページ
●冷暖房機器の冷温風がドアに直接当たっていませんか？	エアコンまたはストーブが近くにある場合は、ドアから離すか、直接風をドアに当てないようにしてください。	—
●ドアに日光が直接当たっていませんか？	カーテンを引くなどして、陽射しを遮る(弱める)ようにしてください。	—



現象：5 防音効果が感じられない。ドアから音が漏れている。

確認点	対処方法	参照ページ
●閉めた時にドアが枠(戸当りパッキン)に密着していますか？	ドアを閉めて、ドアがパッキンにしっかり密着しているかどうかを確認してください。 すき間がありましたら丁番の調整機能で調整してください。	P.10~11
●戸当りパッキンが正しく付いていますか？	枠に戸当りが正しく付いているか確認してください。 はめ込みが甘かったり、ガタつきがあったりすると、防音性能が低下する場合があります。 ガタつきがある場合は、戸当りをしっかりと手で押し、はめ込んでください。 部材が破損しますのでハンマー等で直接たたかないでください。	P.9~11
●パッキン(戸当り・ドア下部)が、ねじれたり切れたりしていませんか？	戸当りパッキンおよびドア下部の気密材(パッキン)を確認してパッキンがねじれてクセがついていたり、切れていないか確認してください。 異常があった場合は、施工されたビルダーさま・施工業者さまにご相談ください。	—
●ラッチが掛かっていますか？	ドアを閉めた時にラッチが掛かっているか確認してください。ラッチが掛からない、閉めた時にラッチがガタつく場合は、枠側のストライク受けの出入りを調整してください。	P.9
●室内ドア／プライベート仕様の防音性能について。	本製品は、発生した空気音を30dB減音させる効果(試験性能値)を有していますが、床や壁を伝わってくる音(固体音)の減音効果はありません。 ドアを単体でお使いいただきましても、すき間対策の不備や壁材等がドアの遮音性能を下回ったりすると、このドアの本来の性能(30等級相当)が発揮できなくなることがあります。 例として、周囲の音がおおむね70dB未満で、室内が40dB程度の暗騒音※の場合、暗騒音よりも静かになることはないため、そのような現象が起きます。 ※暗騒音(あんそうおん) 遮音性能を測定する時に、音源から音を発していない状態で現場に存在する音のことです。	P.5~7



現象：6 ドアを外したい。

確認点	対処方法	参照ページ
●ドアの外し方・取付け方について。	手順に従ってドアを外してください。	P.12



現象：7 換気口で換気がされていない。

確認点	対処方法	参照ページ
●換気の経路を確保してありますか？	防音効果を狙った部屋は音の漏れを防ぐため、すき間を極力なくし気密性が高まっています。 空気の流れを発生させるためには、異なる2方向に空気を流す装置(空調・換気扇・換気ガラリ・換気口等)を設ける必要があります。 換気装置がない場合、ドアの換気口だけでは自然換気効果は、ほとんどありません。	—
●換気口が汚れていませんか？	ご使用により換気口にはほこりが付着して目詰まりしている場合があります。 定期的に清掃していただき目詰まりしないようにしてください。 清掃頻度はご使用いただく環境により異なります。	P.8

商品保証について

本書は、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中、商品に故障・損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、お取扱いの施工店、工務店、販売店又は LIXIL 修理受付センターにご相談ください。

■対象商品…………… インテリア建材

■保証期間…………… 施工者よりの引渡し日(注1・注2)から2年間(電装部品については1年間)

注1)改修工事の場合、改修部分の工事完了の日とします。

注2)分譲住宅(建売住宅)の場合、建築主さまへの引渡し日とします。

■保証内容…………… 取扱い説明書、本体ラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に商品そのものに不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項に該当する場合を除き無料修理いたします。

■免責事項…………… 保証期間内でも、次のような場合には有料修理となります。

- ①当社の手配によらない加工、組立て、施工、管理、メンテナンスなどの不備に起因する不具合(例えば、工事中の養生不良による変色や腐食など)
- ②表示された商品の性能をこえた性能を必要とする場所に取付けられた場合の不具合
- ③建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合
- ④商品又は部品の経年変化(使用に伴う消耗、摩耗など。木製品のソリ、干割れ、変色など)や経年劣化(樹脂部品の変質、変色など)又はこれらに伴うサビ、カビなどその他類似の不具合
- ⑤自然現象や住環境に起因する結露などの不具合
- ⑥環境が特に悪い地域又は場所での腐食および不具合(例えば、海岸地帯での塩害による腐食、浴室内などの湿潤な部位、部分的、又は全面的に野外に晒された場所。部屋内外の温度差が極端に違う部位に取付けられたもの、極端に乾湿を繰り返す部位に取付けられたもの。異常な高温・低温・多湿による不具合)
- ⑦天災その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など)により、商品の性能をこえる事態が発生した場合の不具合
- ⑧施工当時実用化されていた技術、知識では予測することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合
- ⑨犬、猫、鳥、鼠などの小動物の害による不具合やキクイムシなどによる虫害
- ⑩引き渡し後の使用上の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
- ⑪お客さま自身の組立て、取付け、修理、改造(必要部品の取外しを含む)に起因する不具合
- ⑫本来の使用(一般住宅同等の環境下で使用される建築物)の目的以外の用途に使用された場合の不具合又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
- ⑬犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

※保証期間経過後の修理、交換などは有料とさせていただきます。

※本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お取扱いの施工店、工務店、販売店又は LIXIL 修理受付センターにお問合わせください。

株式会社 LIXIL

※商品のお問い合わせ・ご相談のため、メモしておくとう便利です。

■販売店名

TEL ()

■工務店名

TEL ()

株式会社 LIXIL

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで
受付時間/月～金 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL. ☎0120-126-001 FAX.03-3638-8447

- 旭トステム外装株式会社のサイディング材に関する商品相談は
旭トステム外装(株)サービスデスクナビダイヤル TEL.0570-001-117
-

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで
受付時間/月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎0120-413-433 FAX.☎0120-413-436

<http://www.lixil.co.jp/support/>

安全に関するご注意

ご使用前に「取扱説明書」をよくご覧の上、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

- 商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL オフィシャルサイトまで

<https://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CAD データなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからご確認ください。

取説番号 MAN-667B	事業所コード FV46	2019.04.10発行
---------------	-------------	--------------

